



静小だより

みがきかがやく静小の子ども
 「知」よく考える子
 「徳」思いやりのある子
 「体」たくましい子

「学校」「家庭」「地域」すべての場で 健全な子どもの育成を めざしましょう。

第1回「いじめ把握アンケート」結果

1 今年4月から今日まで嫌な思いをしたことがありますか。どんなことをされましたか。

全学年 (178名)	ない	ある	いやな思い（複数回答）							
			ひやかしか らかい 悪口	仲間外れ 無視	遊びで ぶつかる たたく ける	ひどく ぶつかる たたく ける	持ち物 隠し いたす	恥ずかしい 行動や危険 な行動をさ せられる	メールや アプリで の悪口・ 仲間外れ	その他
人数	130 人	48 人	16人	9人	12人	12人	6人	5人	5人	6人
割合	73%	27%								

2 あなたは今でも嫌な思いをしていますか。※2年生以上

している	していない
12人	24人

※毎年第1回目の調査では、1年生は「1」の回答のみとなっています。

3 嫌な思いをした時、誰に相談しますか。【複数回答】※2年生以上

	先生	スクール カウンセラー	友達	父母	兄弟 姉妹	電話 相談	メール SNS	相談 しない	その他
147名	93人	13人	71人	109人	39人	10人	4人	20人	9人
割合	63%	8%	48%	74%	27%	7%	3%	14%	6%

4 いじめはどんなことがあっても許されないことだと思いますか。※2年生以上

	そう思う	そう思わない	わからない
147名	147人	0人	0人
割合	100%	0%	0%

■嫌な思いのなかでも、「冷やかしか・からかい・悪口」「ぶつかる・たたく・ける」の他、「仲間外れ・無視」が多く出されていました。相手を思いやる気持ち、相手に寄り添う気持ちを育てていくことが重要だと感じています。また、「たたく・ける」などの行為は、遊びだとしても絶対に許されることではありません。

■「今でも嫌な思いをしている」という児童には、担任と個別面談を行いました。状況を聞き取り、解決したものもありましたが、まだ時間がかかるものもあります。

■「いじめ」というと、一方的、継続的、深刻といったイメージがありますが、昭和から平成にかけて数回に渡り、「いじめの定義」が変遷され、現在は心身の苦痛を少しでも感じていることを「いじめ」ととらえています。本校でも2件、対象となっています。

今後も、日常的な声掛けや児童の観察を続け、いじめの早期発見に努めていきます。また、児童一人一人の自己存在感、自己有用感を高められるような教育活動を推進し、職員一丸となって、いじめの未然防止に努めてまいります。

PTA ソフトボール大会

7月3日(日)、PTAソフトボール大会が行われました。新型コロナウイルスの影響もあり、過去2年間中止になっていたのに、3年ぶりの大会となりました。

3チーム(1・2年生、3・4年生、5・6年生)に分かれ、総当たり戦で行い、接戦の末5・6年生チームが優勝しました。男性は利き手と反対の打席に立ちながらも大健闘していました。

大会後のお父さんチーム対決では、3者連続ホームランや、2打席連続ホームランも飛び出し、会場も、どよめきました。

天気もとても良く、参加者全員が日焼けをした、暑く、熱い1日でした。

参加された保護者の皆様、保体部の皆様、大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

【試合結果】

	1	2	3	4	5	R
1・2年	0	0	0	0	2	2
3・4年	0	5	1	3	×	9

	1	2	3	4	5	R
5・6年	1	0	0	2	0	3
1・2年	0	0	0	0	0	0

	1	2	3	4	5	R
3・4年	0	0	0	0	0	0
5・6年	0	1	3	1	×	5

実演しながら身を守る術を学ぶ様子



1～3年生 防犯教室

静内警察署の方を講師に迎え、防犯教室が行われました。「いかのおすし」や「知らない人に声をかけられたときの対応の仕方」を実践を交えて教えていただきました。